

院長からのメッセージ

院長 石黒英昭



暖かくなり、人と同様ベトナムも過ごしやす季節となりました。

春から夏にかけて狂犬病注射、フィラリア予防、ノミ予防、皮膚病等で動物病院に来院される患者さんが増えてきます。待ち時間が少し長くなるなど不手際があるかと思いますが、ご了承下さい。

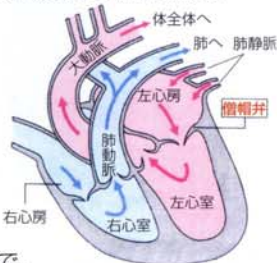
今回はニュースレター第2号ということで、病気、しつけの他に当院お薦めフード、シャンプー等も紹介します。ワンちゃん、ネコちゃんとの生活で何かの参考になればと思います。困ったことがあったらすぐにご相談下さいね。

What 動物の病気

高齢化に伴い多く見られる心臓病 僧帽弁閉鎖不全症とは？

血の流れの方向をコントロールする心臓の弁のひとつ(僧帽弁)が正常に機能しない状態をいいます。症状として

- よく咳をする
- 散歩を嫌がって元気がない
- 息づかいが荒くなった
- やせてきた
- 食欲がない……など。



早期発見、早期治療が何よりも大切ですので、上記のような症状がみられる時はすぐに相談して下さい。特に、高齢期(6~7才から)の小中型犬(マルチーズ、チワワ、キャバリア、ポメラニアン、シーズなど)に多いです。

フィラリア 最新情報

フィラリアシーズン到来!!

フィラリア予防の季節となりました。昨年同様、錠剤タイプのもの、お肉のかたまりのチュアブルタイプを用意しています。

CM等でご覧になった方もいると思いますが、今年新しくフィラリア予防とノミ駆除(ダニには効かない)ができるスポットタイプが発売されました。新薬なので今年一年は使用せず、メーカーからの使用報告を見てから来年考えていきたいと思っています。

また、昨年発売された注射でのフィラリア予防は死亡した症例の報告が数例あった為、検討した結果、当院では使用しないことにしました。

投薬の前に血液検査が必要となります。4月から検査が可能ですので来院して下さい。なお、一度に3頭以上の来院の場合は、診察時間外での診察を考えていますので事前にご連絡下さい。

猫、フェレットにもフィラリア症があるということをご存知ですか？

猫、フェレットのフィラリア症は発症してしまうとすぐに死んでしまうという犬のフィラリアよりも恐ろしい病気です。予防法は犬と同じように毎月一回薬を飲ませることで予防できます。



皮膚病 について

梅雨時から夏にかけて皮膚病が増える時期です。でも日頃からケアしてあげればその発生率を抑えることができます。

春から夏にもっとも多い皮膚病

1.「ホットスポット」と呼ばれる急性膿皮症

原因：湿度が高い日や、毛が湿った状態でコンクリートや土、床の上などで寝てしまうと、毛と皮膚の間で雑菌であるブドウ球菌が短時間に大量発生するために起る。

症状：急に脱毛して皮膚が真っ赤にただれる。
治療法：抗生物質の服用と皮膚の消毒、シャンプー。

2.膿皮症

原因：気温が高く湿度が高いと、皮膚状でブドウ球菌が増殖して起る。

症状：皮膚の所々で赤いしっしん、かゆみが出る。
治療法：抗生物質の服用と皮膚の消毒、シャンプー。

3.花粉、草木、ハウスダスト、ノミに対するアレルギー

原因：花粉やハウスダストの吸引、草木の接触、ノミの吸血によって発生する。

症状：激しいかゆみ。
治療法：原因となっているアレルゲンの除去～血液検査で診断できる。(詳しくは病院で) 抗生物質(二次感染予防)、頻回のシャンプーなどで治療。

皮膚病のケアには シャンプーがとても重要!



Q.シャンプーはどうして必要なの？

A：皮膚表面が不潔になると、細菌やカビが発育して皮膚病の原因になります。特にアトピー性皮膚炎の場合には、ノミやほこりの付着により激しいかゆみを引き起こします。シャンプーは皮膚病予防の第一歩です。

Q.シャンプーは何回したらよいの？

A：通常は2週間に1回くらい。皮膚の分泌の多い犬(あぶら症)や暑い季節には、1週間に1回くらいまで回数を増やして下さい。

Q.どんなシャンプーを使ったらいいの？

A：皮膚病を起こしている場合は、病院での指示に従って、薬用シャンプーを使用して下さい。

病院がらのお薦めシャンプー

オーツシャンプー
普段のお手入れに最適。



クロルヘキシジン
シャンプー
皮膚病の時に。



フォトギャラリー

今泉ぞらちゃん Mダックス♀8才	沢辺りりちゃん マルチーズ♀10才	石黒風助ちゃん ポメラニアン♂9才	野口モモちゃん キャバリア♀3才	野口キキちゃん バグ♂12才	中尾ティアラちゃん エアデールテリア♀7ヶ月	鈴木花ちゃん 柴犬♀2才
					大久保ナナちゃん シーズ♀3才	夏目チツブちゃん シーズ♀7才